

(別紙)

令和8年9月定例会議 一般質問

4番議員 井上 慎司

中部・北部エリアの将来像と持続可能なまちづくりについて

第6次開成町総合計画に基づき、駅前通り線をはじめとした南部エリアのまちづくりが着実に進められている。

一方、中部・北部エリアでの人口増加策や少子化対策など、地域ごとの将来像をより具体的に示すことが求められると考える。

中部エリアでは住宅の増加に伴い生活者が増える一方、あじさいまつり開催時には、来場車両が地域内に集中し、交通や生活環境への影響が生じている。

北部エリアにはホテルをはじめとする豊かな自然環境や地域資源があり、農地保全やその魅力を生かしたまちづくりも重要である。

金井島緑陰自由運動広場や開成小学校・文命中学校など公共施設・教育施設についても、人口構造の変化を見据えた長期的な視点が必要である。

そこで、中部・北部エリアの将来像と持続可能なまちづくりについて伺う。

- 1 中部・北部エリアを今後具体的にどのような地域として位置付け、将来像を描いていくのか。
- 2 あじさいまつりや阿波おどりなどイベントによる交通混雑や地域住民への負担を踏まえ、今後のイベント運営や地域活性化をどのように考えているか。
- 3 当該エリアの公共施設・教育施設をどのように活用し、持続可能なまちづくりにつなげていく考えか。